

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ヒトツナ西ノ京教室		
○保護者評価実施期間	R7年1月12日		R7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 20人
○従業者評価実施期間	R7年1月20日		R7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な経験を持つ職員が在籍することで、より多方面から子どもたちの支援を行うことができている。	「子どもを真ん中」にの視点で、普段よりカンファレンス等を行い支援に活かしている。氷山モデルの考察が職員の中に定着しつつある。	各職員が目的意識を持っての研修受講を行い、より専門性の高い支援が提供できるようにする
2	子どもたちが「楽しく通っている」ことが保護者の支援への満足度につながっている事がアンケートより理解できる。	集団療育の中でも一人ひとりのお子さんを見て関わっている。「子どもたちの安全基地になる」ことを第一に考え、まずは認める関わりを行っている。	お出かけやお散歩、買い物体験などよりプログラムの充実を図っていく
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者との連絡ツールとして公式LINEや電話、アプリを利用しているが、便利であると評価をいただいた一方、緊急時の連絡がつきにくかった指摘あり。	送迎が重なる時間には電話対応が難しい。公式LINE等、各保護者によって利用活用しやすいツールが異なる。	より丁寧な保護者対応を実施する
2	年長児の就学に向けて小学校との連携準備中。より早期から、現在通われている園との連携が図れていればより切れ目ない連携につながったと考えられる。	送迎時などに園の先生にご様子は伺っていたが、園を訪問させていただく調整ができていなかった(時間調整の難しさ、訪問する職員の捻出など)	より積極的にご様子伺い、訪問調整を行って行く
3			